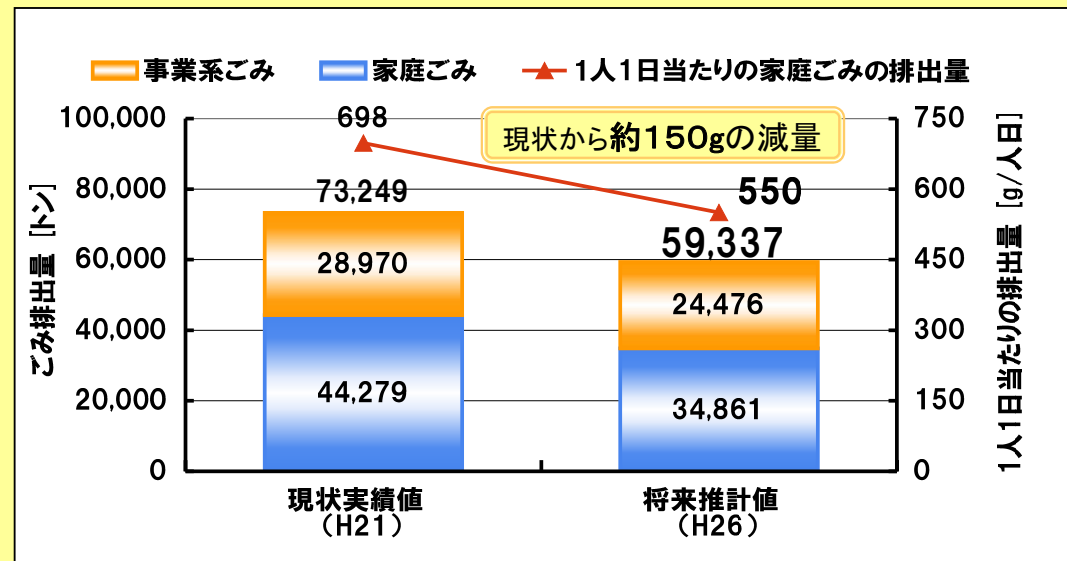


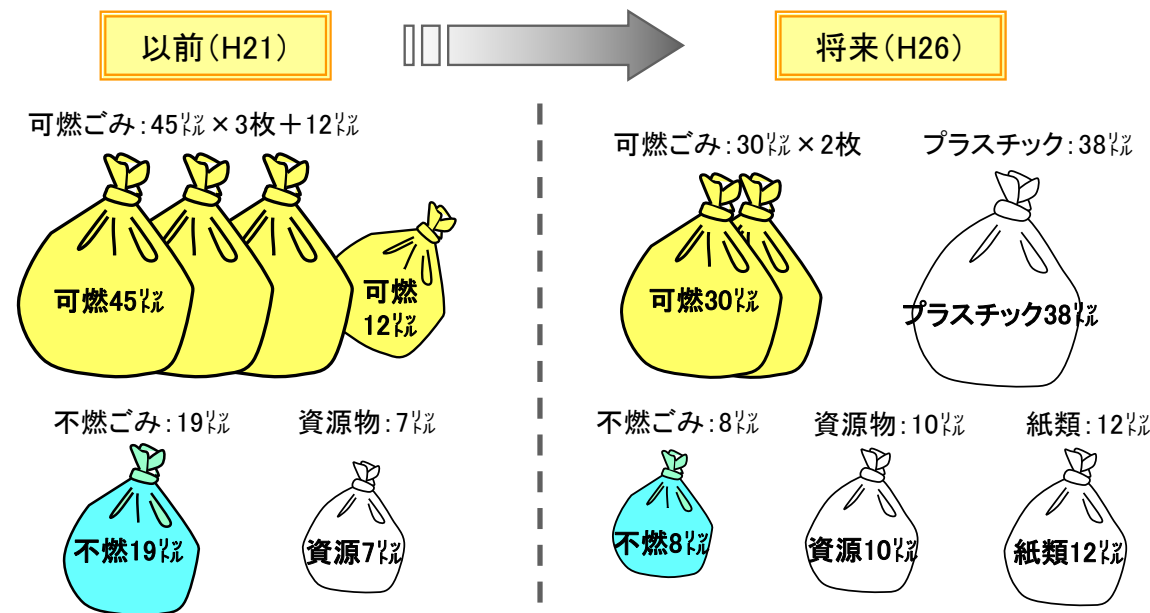
施策実施の効果

- 1人1日当たりの家庭ごみ排出量の数値目標550gを達成できる。
- ごみ減量目標が達成できた場合には、糸井清掃センターの焼炉を見据えた検討が可能になる。
- リサイクル率は数値目標の28%に向上する。



ごみ排出量はこんなふうに変ります。

(試算条件: 4人家族が1週間で排出するごみ量)



～ 053(ゼロごみ)のまち とまこまい ～

ごみ減量とリサイクル推進に向けて

私たちは、ごみの適正処理と資源循環型社会を実現することにより、
 苫小牧の豊かな自然に恵まれた良好な環境を未来に引き継いでいくため、
 『自然と環境にやさしいまち』を目指しています。

ゼロごみ 053のまち 基本目標と数値目標

ごみを適正かつ衛生的に処理するだけでなく、資源循環型社会への対応を見据え、施設の整備に努めるとともに、収集・運搬の効率化を図ります。

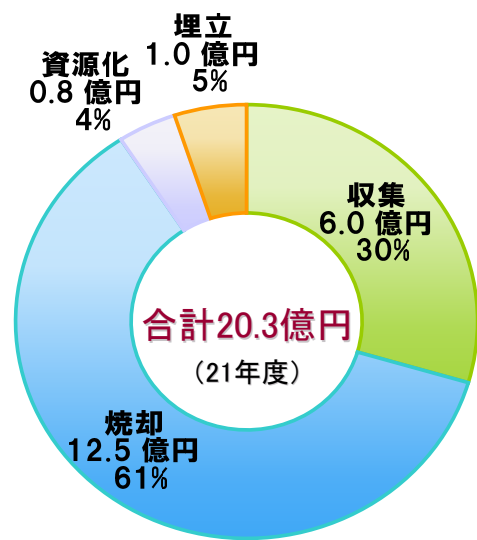
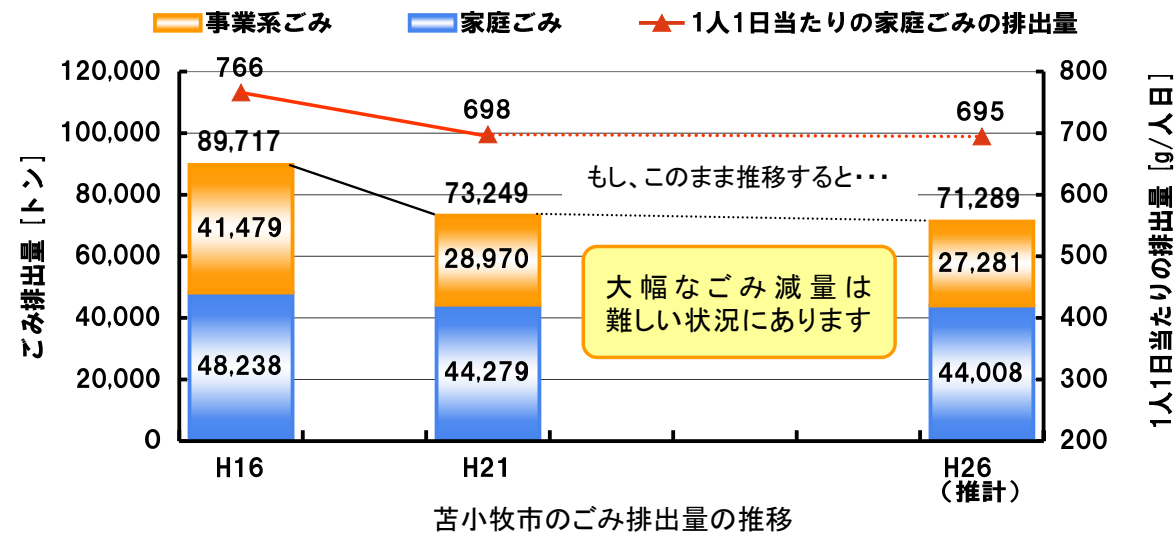
	現状 (21年度)	目標 (26年度)
1人1日当たりの家庭ごみ排出量	698グラム	550グラム
リサイクル率	17.3%	28.0%

資源循環型社会を実現した『自然と環境にやさしいまち』となるためには…
 私たち一人ひとりが、次のような行動を実践することが必要になります。

- 3Rを積極的に推進し、ごみの減量に努める。
 - 簡易包装や詰替商品を積極的に購入する。
 - マイバッグを持参し、レジ袋の使用を控える。 …など
- 資源物の分別を徹底し、リサイクルの推進に努める。
 - びん・缶・ペットボトル・紙パック・プラスチックは資源として排出する。
 - 古着・廃食油は拠点回収を利用する。
 - 新聞・雑誌・段ボールは集団回収を利用する。
- ごみの排出マナーを守り、ごみステーションの衛生管理に努める。
- 地域清掃ボランティアなどに積極的に参加する …など

現状と課題

- **ごみ排出量・リサイクル率ともに北海道平均に満たない。**
 1人1日家庭ごみ排出量 : 本市_698g (全道_644g)
 リサイクル率 : 本市_17.3% (全道_20.4%)
- **安定したごみ処理のために、老朽化施設の整備が必要である。**
 焼却施設は全国的には25年程度で廃炉となっているが、糸井清掃センターはS57の供用開始以来、すでに29年間稼働している。



本市のごみ処理原価の内訳を見ると、ごみを焼却するための費用が最も多く、全体の61%を占めている。

資源化に要する費用は全体の4%に過ぎないが、リサイクル率の向上や分別品目の拡大により、増加傾向にある。

家庭ごみ減量と資源化促進に向けて

- **家庭ごみ有料化の実施**
 - 再生不可能な「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」を有料化へ
 - 手数料水準はごみ排出量1リットルあたり2円で検討中
 - 不法投棄・不適正排出対策、各種減免制度についても検討中
- **紙類資源化の実施**
 - わかり易い分別方法で、多くの紙類を資源化できる方法を検討中
- **集団回収事業の拡充**
 - 奨励金の対象品目を、現行の3品目から拡大へ
- **生ごみ減量化の推進**
 - 生ごみ減量化啓発パンフレットの作成等の強化施策を検討中
- **市民啓発**
 - ごみ減量とリサイクル推進に対するまちぐるみの取組を実施へ

家庭ごみ有料化とは・・・

家庭から排出される廃棄物について、それを適正に処理するための費用の一部を、市民が手数料という形で直接負担する仕組みのことであり、次のような意義があります。

ごみ減量とリサイクル推進

- 手数料負担を軽減しようとするため、ごみの発生抑制が期待できる。
- 分別の徹底が図られ、リサイクル率の向上が期待できる。

ごみ問題への意識向上

- ごみ減量(=環境負荷低減)のため、ライフスタイルを見つめ直す良いきっかけとなる。

ごみ処理費用の負担の公平化

- ごみ排出量に応じた手数料の負担となり、ごみ減量への努力が報われる形となる。

事業系ごみ減量と指導強化に向けて

- **ごみ処理手数料の適正化**
- **分別排出・適正排出の指導及び啓発**